

「グローバルCOEプログラム」中間評価 ヒアリング実施要領（案）

〔平成 年 月 日
グローバルCOEプログラム委員会〕

I. ヒアリングの概要

1. 目的

ヒアリングは、評価委員が当該拠点の関係者との質疑応答を行うことにより、書面評価における不明点等を明らかにし、評価に資することを目的とする。

2. 実施主体

実施主体は、独立行政法人日本学術振興会グローバルCOEプログラム委員会分野別審査・評価部会とする。

3. 実施方法

拠点より、書面評価結果に基づき事前に示す質問事項を中心に、拠点形成進捗状況の詳細等についての説明を受けるとともに、意見交換を行う。

4. 参加者

[実施者]

分野別審査・評価部会

[説明者]

拠点リーダーを含め4名以内

5. 時間配分

- | | |
|-------------------------|-----|
| ① 拠点リーダーによる拠点形成進捗状況等の説明 | 10分 |
| ② 質疑応答 | 15分 |
| ③ 審議 | 5分 |

6. ヒアリング実施項目

実施者は、①書面評価結果等に基づく質問事項、②その他必要に応じて当該拠点に提出を求める関連資料を対象拠点に事前に通知する。

以下は一例であり、実際はヒアリング内容等により異なる。

《質問事項の例》

- ① 学長を中心としたマネジメント体制の下、拠点形成の目的に沿ってどのような研究教育の取組み（組織、国際化、プログラム等）が行われているか
- ② 若手研究者の育成（特に博士課程（後期）学生）についてどのような教育理念のもとに具体的な取組みが行われているか
- ③ 拠点リーダーを中心とする事業推進担当者がどのような有機的連携を図り拠点を形成しているか
- ④ 拠点形成の目的に沿ったプログラム開始後の研究であって、特に世界水準と判断される成果は何か（成果を上げたメンバー、発表場所、その反響、世界水準と判断した理由等）

別途、必要に応じて追加の説明資料

7. ヒアリング出席者の注意事項

- (1) ヒアリング説明者は、進行状況により開始時間が早まることを想定して、当該拠点ヒアリング開始時間30分前にヒアリング会場前に参集すること。
- (2) 説明時間が限られているため、説明はできるだけ簡潔に行うこと。
- (3) ヒアリング会場には、液晶プロジェクター、パソコン(Windows)及び接続ケーブル(D-sub15ピンケーブル、3列ピン)が用意してあるので、説明時に利用できること。
- (4) ヒアリング時に使用する追加説明資料がある場合は、ヒアリング当日に必要な部数(整理の都合上A4判サイズとする)を用意すること。(詳細は別途通知することとする。)
- (5) ヒアリング内容の録音及び録画は、禁止すること。

II. ヒアリング実施後

ヒアリング・合議評価を行った上で、必要に応じ、①学長同行の再ヒアリング、②現地調査を行うものとする。

「グローバルCOEプログラム」中間評価 ヒアリング評価書（案）

[分野名：]

作成者 _____

機関名・専攻等名		拠点番号	
拠点のプログラム名称			
拠点リーダー名			
<p>【総括評価】</p> <p><input type="checkbox"/> 現行の努力を継続することによって、当初目的を達成することが可能と判断される</p> <p><input type="checkbox"/> 当初目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要と判断される</p> <p><input type="checkbox"/> このままでは当初目的を達成することは難しいと思われるので、助言等に留意し、当初計画の適切なる変更が必要と判断される</p> <p><input type="checkbox"/> 現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても当初目的の達成は困難と思われる</p> <p>(コメント)</p> <p>〈優れている点〉</p> <p>〈改善を要する点〉</p>			
<p>(特記事項：大学限り)</p> <p>〈留意事項〉</p> <p>〈参考意見〉</p> <p>〈その他（経費面等）〉</p>			
<p>[学長同行の再ヒアリングの有無について]</p> <p>学長同行ヒアリングの実施を <input type="checkbox"/> 必要とする。 <input type="checkbox"/> 必要としない。</p> <p>[現地調査実施の必要性の有無について]</p> <p>現地調査の実施を <input type="checkbox"/> 必要とする。 <input type="checkbox"/> 必要としない。</p> <p>(理由等)</p>			